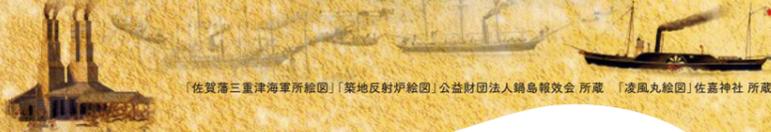




佐賀幕末維新紀行

～ 維新の風に想いを馳せる～



総理大臣を2度務めた大政治家、波瀾万丈の生涯

大隈重信記念館

佐賀城の城下町の面影を残す佐賀市水ヶ江。住宅街の一角にたたずむ大隈重信記念館は、「佐賀の七賢人」の一人で、激動の明治時代の日本をけん引した大政治家、そして早稲田大学を創設した教育者でもある大隈重信の足跡を今に伝えていきます。

波瀾万丈に生きた大隈は、さまざまなエピソードの持ち主。少年時代、大隈は勉強中居眠りをしたら頭がぶつかって目を覚ますように、出っ張った梁の前で勉強するなど努力家でした。血気盛んで、学制改革をめぐり藩校「弘道館」を退学となったり、尊皇派として一時、脱藩もしました。

明治政府では、イギリス人公使パークスとの交渉などで手腕を発揮。参議や、大蔵卿も歴任し、グレゴリオ暦導入や新橋横浜間の鉄道敷設、義務教育制度の制定、通貨を「円」に一新する貨幣制度の整備など数々の功績を残しています。1882(明治15)年には国会開設に備え、英国流の「立憲改進黨」を結成し、初代党首になりました。

その後、不平等条約改正の時、反対の世論が高まる中、爆弾テロにあい右足を失い



明治政府の柱となった貴族らを描いた「開明貴族表」(大隈重信記念館蔵)。上段左から2人目が大隈重信



大隈重信旧宅(生家)

2階の勉強部屋は母・三井子が大隈のために増築したと言われ、八太郎(大隈の幼少名)時代の家庭環境や遺徳が偲べる。天保以前の武家屋敷の面影を残した貴重なもので、国の史跡に指定。

Topics 大隈祭

大隈重信記念館では毎年5月の第2日曜日に、大隈の功績をたたえる「大隈祭」が開かれています。大隈の生誕180年の今年は明治維新150年を記念し、初めて早稲田大学応援部が駆け付け、校歌と応援歌を奉納しました。

ましたが、屈しました。61歳の時に内閣総理大臣に就任。しかし、板垣退助や薩長閣との対立で下野すると、いったん政界を退き、早稲田大学の総長に。1910(明治43)年には日本人が初めて南極探検に挑んだ「白瀬南極探検隊」の後援会長を務め、その功績から南極の入り江の一つが「大隈湾」と命名されました。

大隈はその後、政界に復帰し、1914(大正3)年に再び内閣総理大臣に就任します。77歳でした。記念館では、愛用の義足や肉声の演説レコードなど大隈ゆかりの品々を展示。記念館隣の生家では、眠気を覚ました「ごっつん柱」が残る2階の勉強部屋が、毎月「5」のつく日に公開されています。



大隈が使用した義足(大隈重信記念館蔵)

大隈重信(1838-1922)

1838(天保9)年2月16日に佐賀市水ヶ江で生まれる。藩校弘道館に学び、蘭学寮では西洋の新知識を吸収した。明治に入り、参議、大蔵卿などを歴任。1882(明治15)年に東京専門学校(現・早稲田大学)を創設。1922(大正11)年、85歳で逝去。



大隈重信記念館

- 場所** 佐賀市水ヶ江2丁目11番11号 ☎0952(23)2891
- 開館時間** 9:00~17:00 (入場は16:30まで)
- 入場料** 大人 300円 維新博期間中(2019年1月14日まで)は高校生以下無料
- 休館日** 年末年始(12月29日~1月3日)



1868 2018 肥前さが幕末維新博覧会 2019年1月14日(祝・月)まで開催中! 【入場券・フリーパス券好評発売中】

1868 2018 肥前さが幕末維新博覧会 Hizen Saga Bakumatsu-Meiji Restoration Expo

1

維新博キャンペーン企画

夏休みは、家族・友達みんなで維新博に行こう!

好評につき!

夏のお得なキャンペーン

1 クーポン付チラシやスマホ画面の提示でファミリーで割引!

7月21日(土)~9月2日(日)

高校生以下の子どもと一緒に来場する家族は、**大人の入場料を割引**します。(当日、窓口での購入に限る)

- 幕末維新記念館 (800円→600円)
- リアル弘道館 (400円→300円)
- 葉隠みらい館 (400円→300円)
- チケット3(3館共通券) (1,200円→1,000円)

※高校生以下無料 ※キャンペーンの詳細はホームページをご覧ください



2 アイスクリームプレゼント!

7月23日(月)~8月31日(金)

平日の午前中は、「幕末維新記念館」来場者**先着200名**にアイスクリームをプレゼント!

(小・中学生の体験授業を除く)



3 浴衣で入館無料

7月1日(日)~9月2日(日)

浴衣や甚平など和装の方は、3つのテーマ館*への**入場が無料**になります。

和装だと超かあついでいいよね!

*幕末維新記念館 リアル弘道館 葉隠みらい館



リレートークショー 第2弾

9月16日(日) 13:30~15:00 **日本の産業革命は佐賀から**
~最先端の「技」はこうして生まれた~

ゲスト 井沢 元彦さん(作家)ほか 参加申し込みはホームページから

会場 県立美術館ホール さが維新博 検索 7月31日 まで

☎ 佐賀広告センター ☎0952(27)7083 (平日9:30~17:30)

幕末維新記念館の閉館時間を延長

7月6日(金)~9月1日(土)の毎週金・土曜日に限り閉館時間を**19:00まで延長**します。(最終入場18:30) ※8月4日(土)は、栄の国まつり花火大会のため18:00閉館

詳しくは 肥前さが幕末維新博推進協議会 ☎0952(25)7504 ✉sagaishinhaku@pref.saga.lg.jp

2

知ってください、助けあいのしるし

ヘルプマーク配布開始!

ヘルプマークは、外見からは分かりにくい障害や病気などを抱えている方々が、必要な配慮などを得やすくするためのマークです。佐賀県でも7月から配布が始まります。ヘルプマークを身に付けた方を見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。

対象 義足や人工関節を使用している方、内部障害や聴覚障害、難病の方、妊娠初期の方など、配慮や援助を必要としている方

配布方法 県障害福祉課、各保健福祉事務所または、お住まいの市町の担当窓口で手渡します。



ヘルプマーク

ヘルプカードも配布します!



裏面に手伝ってほしいことや緊急連絡先などを記載し、困った時に提示することができます。 ※7月からホームページでダウンロードもできます(佐賀県 ヘルプカード 検索)

詳しくは 障害福祉課 ☎0952(25)7401 FAX 0952(25)7302 ✉shougaiukushi@pref.saga.lg.jp

3

話に耳を傾け、心に寄り添う

犯罪被害者の相談窓口を新設

犯罪の被害にあわれた方は、事件後もつらい思いを抱えながら暮らしています。少しでも早く平穏な生活を取り戻すことができるよう、県ではさまざまな支援策に取り組んでいます。新設する相談窓口では、経験豊富な専任コーディネーターが、途切れのない支援を行いながら被害にあわれた方の心に寄り添います。一人で抱え込まないで、まずは相談してください。



専任コーディネーター 笠原 保子さん

犯罪被害にあわれた方の秘密は守ります。安心してご相談ください。

犯罪被害者相談電話 ☎0952(24)2191 8:30~17:15 (平日のみ)

支援の例 被害にあわれた方が、弁護士に相談したい場合、2回分の相談費用を負担します。

詳しくは くらしの安全安心課 ☎0952(25)7060 ✉kurashianzen@pref.saga.lg.jp